

# よしまい

2025年 冬号



10月の「ぶち楽しいバードウォッチング」は冬鳥観察

## 目次

### 公園の風景

- ・冬鳥、旅鳥が続々と♪ ..... 1
- ・ショウドウツバメのねぐら入り ..... 1
- ・これ、な〜んだ? ..... 1
- ・タンキリマメ ..... 1
- ぐるっと山口湾 ⑤ ..... 2

### みんなのひろば

- ・駅伝・言葉の由来 ..... 2

### 活動紹介

- ・笑顔と歓声「ふれあいまつり」 ..... 3
- ・長野山でバードウォッチング? ..... 3
- ・クリスマスリース作り ..... 3

発行：「葦の会」機関紙チーム

事務局：〒754-1277 山口市阿知須 10509-53

きらら浜自然観察公園内

電話 0836-66-2030 (FAX 66-2031)

mail [ashinokai.kirara@gmail.com](mailto:ashinokai.kirara@gmail.com)

HP [ashinokai.html.xdomain.jp](http://ashinokai.html.xdomain.jp)

「葦の会」はきらら浜自然観察公園で活動するボランティアグループです。自然を楽しみながら、その素晴らしさを一緒に学び伝えていきませんか？

**会員募集中！（高校生以上）**





# 公園の風景

## = 冬鳥、旅鳥が続々と♪ =



モズ、縄張り確保！

毎月第2日曜日に行われている「ぶち楽しいバードウォッチング」に久しぶりに同行しました。10月だというのに30℃と真夏日で、参加者の皆さんと汗だくになりながらも、キッキと盛んに高鳴きしているモズやシジュウカラなど23種類の野鳥を観察する事が出来ました。そうそう、なかなか出会えないカワセミが一瞬目の前を飛んでいくのを目撃した人もいますよ。この暑さの中でも、冬鳥のカモや近年山口湾で越冬するシギ、チドリなどが集まりつつあります。鳥の多くは気温ではなく日照時間の長短で移動するのだそうですが、11月にはもっと色々観察できるでしょう！皆さんも一緒にしましょう♪

## = ショウドウツバメのねぐら入り =



日本で見られるツバメって5種類いるのをご存知でしょうか？

者は、ツバメは1種類だと長い間思っていたが、ツバメ・イワツバメ・コシアカツバメ・ショウドウツバメ・リュウキュウツバメがいますよ。その中でも最も小さくて茶色っぽい



のがショウドウツバメです。去る10月11日には公園で「ショウドウツバメのねぐら入り観察会」が行われました。ヨシ原の上空を1,000羽の群れで飛び回る様子と、「わ～凄いね～」という参加者の皆さんの驚きの声が公園のユーチューブにアップされていますので、興味のある方は覗いてみてくださいね！

## = これ、な～んだ？ =

公園の草地広場を散歩していたら枯れかけの草の間にキイチゴのようなものを見つけました。サイズは12ミリくらい。よくよく見るとキノコとわかりましたが、柄の部分が短く、スマホで調べてもよくわかりません。タマゴダケ？タマゴダケモドキ？…それとも？



## = タンキリマメ =



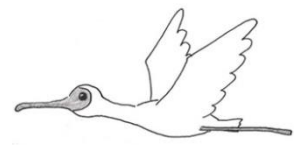
関東以西の日本、中国、台湾、ベトナム、フィリピンに分布する、マメ科で多年草の蔓性植物です。和名の「痰切豆」は、種子(豆)を食べると痰止めの作用があるという俗説からつけられているようです。公園内ではあちこちで確認することができますが、地味目であり、他の植物に巻き付いているので、分かりにくいかもしれません。しかし夏から初秋を迎える頃に小ぶりの黄色の花を咲かせ、やがて緑色の莢(サヤ)となります。その後、鮮やかな赤色へと変化します。

11月頃になると莢の中の豆が完熟し、莢が裂けて中から数ミリで光沢のある変形した楕円形の種子が2個出てきます。この種子ははじけることなく、莢にぶら下がったまま冬まで残り、鳥に食べられることで散布されます。

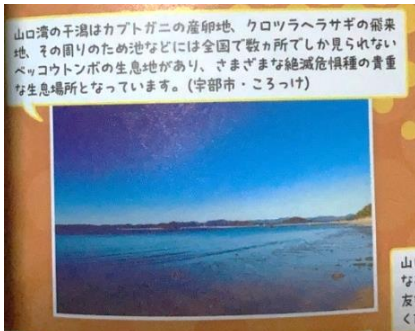


# ぐるっと山口湾 ⑤

山口湾を  
ラムサール登録へ



山口湾はクロツラヘラサギの本州最大の越冬地です。クロツラヘラサギはサギではなくトキの仲間で、ラムサール条約登録を目指す山口湾のシンボル鳥です。今の時期、越冬のため朝鮮半島などから渡ってきて、広い干潟で餌を食べたり、満潮時は波多瀬の岩礁で休んだりしています。毎月一回、湾をぐるりと周りながらその生息調査を続けている葦の会は、10月の調査では26羽を確認しています。これから寒くなるにつれ、もっと増えて行くと思われます。



特別企画「地球の歩き方」の山口市版にも山口湾が取り上げられています！



## みんなのひろば😊

### 駅伝・言葉の由来

朝晩の空気がひんやりし、ようやく秋らしくなってきました。この季節になると、各地でマラソンや駅伝大会が始まります。今回は「駅伝」という言葉の由来をご紹介します。

駅伝の名称は、古代の「駅制」に由来します。これは飛鳥・奈良時代、都と地方を結ぶ幹線道路に設けられた中継所「駅」で、「駅馬」や「伝馬」を使って公文書を運んだ制度です。競技としての駅伝は、1917年の「東京奠都五十年奉祝東海道五十三次駅伝競走」が初めてで、この時に「駅伝」と名付けられました。

11月には、きららドーム周辺を舞台に高校駅伝大会が開催されます。西京高校が長年男女ともに強さを誇っていますが、男子では近年、宇部鴻城や高川学園が先行する場面も。今年は西京の牙城を崩すチームが現れるのか、注目です。(Y・Kimoto)



皆さまのご投稿をお待ちしています。ashinokai.kirara@gmail.com までお送りください。



# 活動紹介

## = 笑顔と歓声「ふれあいまつり」=



10月26日(日)、葦の会主催行事として14回目となる「ふれあいまつり」が行われました。メインイベントの餅つき体験をはじめ、この日のために練習してきた新作の紙芝居、毎年人気のクロツラ餌取りゲーム、紙飛行機大会など盛りだくさんのプログラムに、子供たちの元気な笑顔と歓声があふれました。飲食コーナーではドラム缶で焼いた焼き芋や大鍋で作ったぜんざい、カレーライスなどの販売も行いました。来場された皆さんはそれぞれ、暑さの去った秋の一日を公園でゆっくり過ごし、三々五々帰っていかれました。



## = クリスマスリース作り =

今年の「リース作りの会」は12月13日(土)、午前・午後2回の開催です。リースの輪は、クズの蔓からオーナメントの木の实や葉物、ドラフラーまで会員が集めた自然素材の材料ばかり。自然を感じながら素敵な作品に仕上げただけいたらと思っています

<俳句教室 最多選句>

## = 長野山でバードウォッチング・・・？ =



秋日和の11月10日(月)、会員他9名で研修旅行に行きました。まず訪れたのは10月下旬に第一陣のナベヅル2羽が飛来したという八代盆地。広い田んぼの中でのんびりと餌を食むナベヅルが見られて感激しました。その後、滝とモミジの木谷峠を通り、車一台がやっとの狭いくねくね道を登って長野山山頂(標高1015m)へ。なぜか「鳥っこ一羽」いなくて目的のバードウォッチングは果たせませんでしたが、目の覚めるようなドウダンツツジの紅葉やブナの黄葉、中国山地を見晴らす展望台からの眺めを楽しみ、大満足の旅になりました。

なぜか「鳥っこ一羽」いなくて目的のバードウォッチングは果たせませんでしたが、目の覚めるようなドウダンツツジの紅葉やブナの黄葉、中国山地を見晴らす展望台からの眺めを楽しみ、大満足の旅になりました。



・浜鳴や長き旅路の小休憩

愛

9月

・日の差せる枝に同化の煙かな

清子

10月

・穂芒や沼へと下るけもの道

道子

### <編集後記>

まだ暑い日もあった10月中旬の企画から始めた「よしきり」冬号は、10/26開催の「ふれあいまつり」の準備等々のしわ寄せで、チームのスタッフが集まる回数が減る中での発行となりました。園内の葦原も「枯葦原」へと色を変えつつ…もう冬の気配が。カモの好物、ドングリの実も落ち始めています。(Tasha)